

式辞（中央公民館大栄分館新築工事起工式）

本日は、中央公民館大栄分館新築工事の起工式を挙げるにあたり、公私共にご多用の中、ご来賓として前田北栄町議会議長様をはじめ、多くの関係各位にご列席を賜り、厚くお礼申し上げます。

この建物は、1,971年、今から55年前に建築され、社会活動の拠点として活用されてきました。令和6年度の利用者数は、4万8千人を超え多くの町民に利用されています。また、由良駅前のコナン通りという町の中心部に立地し、図書館と大栄体育館とも隣接する指定避難所にもなっています。

しかしながら、耐震性能が低く、劣化も非常に進んでおり、このまま使い続けることは困難であることから「北栄町公共施設個別施設計画」において、建て替えが求められていました。

そこで、町民の皆様、議会、館の「あり方検討会」からの意見、そして“ほくえい未来ラボ”での提案を参考に、この度のリニューアルを決定したところです。

館のコンセプトは「交流を育む未来につながる町の拠点」です。①町民がつながり、みんなが交流できる拠点。②コナン駅とつながり、図書館や体育館ともつながる、町とつながるみんなの公民館。③子どもたちや町のみならず、観光客とも交流を促す新しい魅力ある公民館。を目指します。

施設は、①高い安全性能と環境性能を確保するために災害に強い施設、ZEB対応の施設、②交流・利便性・親しみ・学びを確保するために人が集まる空間、

利便性の高さ、親しみやすさ、学びの場の確保・整備、③福祉・ユニバーサルデザイン対応として、使いやすさ・わかりやすさを追求しました。

今、北栄町には道の駅大栄、ほうじょうそして青山剛昌ふるさと館に年間、130万人以上の方がいらっしゃいます。そして、来年春には、青山剛昌ふるさと館はリニューアルオープンします。山陰道北条道路や北条湯原道路の完成で格段に交通の便が良くなります。益々、多くの方が北栄町にいらっしゃいます。町民はもちろんのこと町外からのいらっしゃるみなさんの憩いの場、交流の場、つながりの場として、新しい館が大いに期待されます。新館が拠点となり、地域の活性化、地方創生に繋がっていくと確信しています。

先ほどは、期間中の工事の安全祈願祭を行いました。関係する施工業者の皆様、工事を監理していただく設計業者には、くれぐれも安全第一で工事を進めていってください。また工事期間中は、大型の工事車両等の出入りも増え、地元を含め、観光客等多くの皆様にご迷惑にならないよう留意していただきたいと思っております。

終わりに、本日もご列席の皆様引き続きのご支援、ご協力をお願い申し上げますとともに、期間中の工事の安全と無事完成を祈念し、起工式にあたってのご挨拶とさせていただきます。

本日は、誠にありがとうございました。

令和8年4月15日

北栄町長 手嶋俊樹